

## 大船渡市総合計画2021後期基本計画（案）について

大船渡市総合計画2021後期基本計画及び施策成果指標（素案）（以下「計画素案」という。）を基に、第3回大船渡市総合計画審議会（10月27日開催）及び大船渡市議会全員協議会（11月11日開催）における意見を踏まえ、大船渡市総合計画2021後期基本計画（案）（以下「後期計画案」という。）を取りまとめました。

## 1 取りまとめにおいて留意した点

審議会においては、後期計画案の根幹に関わる施策の方向性などに加え、事務事業の企画や実施段階に関する具体的な助言など、多くの意見をいただきました。

これらを踏まえ、後期計画案の取りまとめに当たっては、次の点に留意しました。

留意点	いただいた意見の視点等
① 人口減少社会における市民との協働 人口減少が地域に与える影響について、市民とともに理解を深めながら、誰もが希望を持てる地域づくりを推進すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少の影響について広く共有した上での、若者や女性の意見、将来を見据えた視点の反映</li> <li>・若者の地元定着を促す仕組みづくり</li> <li>・子どもを持ちたいという希望を支える社会環境づくり</li> <li>・地域で暮らし続けることができるサービスや環境の充実</li> </ul>
② 施策の実効性の確保 社会情勢や生活環境は変化することを前提として、地域の実情と将来展望に即した実効性の確保に向けて、継続的に改善を図ること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や地球温暖化など中長期的課題、災害の激甚化や社会環境の変化に対応できる柔軟な仕組みづくり</li> <li>・林野火災の被災者の声や、水産業、地域産業の実態を踏まえた施策展開</li> <li>・NPO法人等の持続性の確保に向けた支援</li> <li>・若者の声を市政に反映できる仕組みづくり</li> </ul>
③ 成果指標の運用 施策の進捗と成果を客観的に把握・評価する基準として、透明性と実効性の確保に向けて、継続的に改善を図ること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策と基本事業の達成率の乖離の改善</li> <li>・目標値の明確化、必達目標と努力目標の区分の明記など、評価の透明性の向上</li> <li>・若者や女性の視点、生活の質を測る指標の導入</li> </ul>

## 2 第3回審議会時点の計画素案からの修正点及び意見に対する回答

参考資料のとおり。

## 3 後期計画案

資料2のとおり。